



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成25年2月4日

上場会社名 サイバーコム株式会社 上場取引所 大
コード番号 3852 URL <http://www.cy-com.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 渡辺 剛喜
問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理部長 (氏名) 中山 直人 (TEL) (045) 312-3271 (代表)
四半期報告書提出予定日 平成25年2月7日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の業績 (平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	5,286	12.2	334	68.5	342	47.3	183	124.6
24年3月期第3四半期	4,710	5.6	198	48.6	232	△11.8	81	△46.5

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	91.47	—
24年3月期第3四半期	40.72	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	4,794	3,039	63.4
24年3月期	4,866	2,904	59.7

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 3,039百万円 24年3月期 2,904百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1 四半期末	第2 四半期末	第3 四半期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	24.00	24.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	28.00	28.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の業績予想 (平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	6,890	6.3	348	51.1	374	39.8	220	145.1	109.98

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年3月期3Q	2,005,400株	24年3月期	2,005,400株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	73株	24年3月期	—株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年3月期3Q	2,005,344株	24年3月期3Q	2,005,400株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○目 次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
4. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
【第3四半期累計期間】	
(3) 継続企業の前提に関する注記	6
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間におけるわが国の経済は、東日本大震災の復興需要や政府主導による経済対策の効果を背景として回復基調にあるものの、米国や中国を中心とする世界経済の減速に伴う輸出の減少等により先行きが不透明な状況で推移いたしました。

当業界においては、IT投資需要は堅調に推移しており、スマートフォンやタブレット端末の市場規模の拡大に加え、クラウド・コンピューティングの進展による新たな利活用に向けたソフトウェア開発の需要が見込まれている一方、開発における短納期及び低コストの常態化や大手企業における今後のIT投資意欲減退による影響が懸念される状況となっております。

このような状況下、当社は業界のニーズに対応すべく今後の進展が見込まれる分野への案件獲得に注力すると共に、リピートオーダーの確保や新規顧客の開拓に向け、積極的な受注活動を推し進めてまいりました。特に受託開発においては、W字モデルの開発手法を取り入れた「当社標準開発モデル」の導入やソフトウェアの構造分析を行う「リバースエンジニアリングサービス」の活用等により品質の向上を図り、さらにOSSの活用や部品化等による生産性向上への取組みも行ってまいりました。また、SIサービス(構築・保守・運用サービス)や「Cyber-Smart CTI」を中心とするプロダクト等の販売強化に努めると共に、今後の顧客ニーズを見据えた新プロダクトの立ち上げも行ってまいりました。

以上の結果、当第3四半期累計期間における経営成績は、売上高52億86百万円(前年同期比12.2%増)、営業利益3億34百万円(前年同期比68.5%増)、経常利益3億42百万円(前年同期比47.3%増)、四半期純利益1億83百万円(前年同期比124.6%増)となりました。

当第3四半期累計期間におけるセグメント別の業績は以下のとおりであります。

(ソフトウェア開発事業)

当社の主力事業でありますソフトウェア開発事業は売上高41億37百万円(前年同期比1.3%減)、営業利益5億97百万円(前年同期比16.8%増)となりました。

内訳として、通信ソフトウェア開発は、データトラフィック増加に伴うネットワーク負荷軽減への対応案件、海外向け小型マイクロ波通信システム(小型基地局)等を受注いたしました。制御ソフトウェア開発は、複合機やプリンター、車載系の開発案件等を中心に受注いたしました。また、業務ソフトウェア開発は、ECサイト構築案件に加え電子カルテやERPの開発案件等を受注いたしました。

(サービス事業)

サービス事業は売上高11億48百万円(前年同期比121.4%増)、営業利益1億28百万円(前年同期比170.2%増)となりました。クラウド化の潮流やBCP(事業継続計画)対策の需要が拡大しており、その対応として、SIサービス(構築・保守・運用サービス)において戦略的な組織体制強化による効率化に努め、受注を拡大いたしました。さらに、「Cyber-Smart CTI」を中心とするプロダクト等の販売を拡大いたしました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第3四半期会計期間末における資産は、前事業年度末に比べて72百万円減少(1.5%減)し47億94百万円となりました。その内訳は、流動資産が51百万円減少(1.3%減)し40億10百万円となり、固定資産が20百万円減少(2.5%減)し7億83百万円となったことによるものであります。

(負債)

当第3四半期会計期間末における負債は、前事業年度末に比べて2億7百万円減少(10.6%減)し17億54百万円となりました。その内訳は、流動負債が2億74百万円減少(28.1%減)し7億3百万円となり、固定負債が67百万円増加(6.9%増)し10億50百万円となったことによるものであります。

す。

流動負債減少の主な要因は、支給対象期間の関係から賞与引当金の減少2億44百万円、未払法人税等の減少54百万円によるものであります。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産は、前事業年度末に比べて1億35百万円増加(4.7%増)し30億39百万円となりました。

(3) 業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の業績予想につきましては、平成24年10月22日発表の業績予想のとおり変更ありません。

今後、何らかの変化がある場合には適切に開示してまいります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,313,354	971,475
受取手形及び売掛金	1,385,105	1,471,055
商品	848	1,744
仕掛品	101,398	109,098
短期貸付金	1,000,515	1,302,351
その他	261,538	155,116
流動資産合計	4,062,760	4,010,841
固定資産		
有形固定資産	253,261	254,651
無形固定資産	66,340	46,616
投資その他の資産	484,232	482,293
固定資産合計	803,834	783,561
資産合計	4,866,594	4,794,402
負債の部		
流動負債		
買掛金	129,609	126,865
未払費用	180,847	189,036
未払法人税等	54,658	—
賞与引当金	432,994	188,074
役員賞与引当金	20,120	14,572
工事損失引当金	288	—
その他	159,998	184,980
流動負債合計	978,515	703,529
固定負債		
退職給付引当金	958,430	1,024,822
役員退職慰労引当金	24,950	26,102
固定負債合計	983,380	1,050,924
負債合計	1,961,896	1,754,454
純資産の部		
株主資本		
資本金	399,562	399,562
資本剰余金	307,562	307,562
利益剰余金	2,197,572	2,332,881
自己株式	—	△58
株主資本合計	2,904,697	3,039,948
純資産合計	2,904,697	3,039,948
負債純資産合計	4,866,594	4,794,402

(2) 四半期損益計算書
【第3四半期累計期間】

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	4,710,631	5,286,019
売上原価	3,774,647	4,188,859
売上総利益	935,983	1,097,160
販売費及び一般管理費	737,496	762,759
営業利益	198,487	334,401
営業外収益		
受取利息	6,878	6,284
雑収入	1,942	988
その他	25,338	1,110
営業外収益合計	34,160	8,383
経常利益	232,647	342,785
特別損失		
固定資産除却損	58	187
特別損失合計	58	187
税引前四半期純利益	232,589	342,597
法人税、住民税及び事業税	11,951	64,490
法人税等調整額	138,960	94,669
法人税等合計	150,911	159,159
四半期純利益	81,677	183,438

(3) 継続企業の前提に関する注記

当第3四半期累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日）
該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日）
該当事項はありません。